

見学施設

団体OK

季節・分野	通年型	見学	雨天時OK
タイトル	西郷隆盛が奄美大島で暮らした家を復元		
施設名	西郷南洲流謫地跡（さいごうなんしゅう・るたくちあと）		
住所	894-0321 鹿児島県 大島郡龍郷町龍郷166 （おおしまぐん・たつごうちょう・たつごう）		
電話 担当者	【問い合わせ先】（龍）0997-62-3368 0997-53-2897 【龍郷町役場】0997-62-3111		
ホームページ	龍郷町役場公式ホームページに紹介あり http://www.town.tatsugo.lg.jp/		
場所	奄美空港から車で30分、龍郷町役場から車で10分、奄美市名瀬から車で35分 しまバスでは「龍郷入口」または「龍郷」下車、徒歩5分 駐車場なし		
営業時間	10:00～16:30（個人所有の敷地、施設）		
定休日	不定休（団体の場合は事前予約）		
所要時間	30分		
料金	入園料＝高校生以上200円、小中学生100円		
受け入れ人数	～40人		
内容・特色	<p>▽幕末の約3年間、西郷隆盛が奄美大島で暮らしていた家を復元したもの。鹿児島県の指定史跡。屋内には西郷ゆかりの品などが展示されている。庭にある石碑は明治時代に建立。碑文は勝海舟の筆による。</p> <p>▽1858年（安政5年）幕府に追われていた西郷と月照は鹿児島湾で入水自殺を図った。月照は死亡したが、西郷は蘇生した。</p> <p>▽翌年、薩摩藩は西郷を「菊池源吾」と改名させ、奄美大島に潜居させた。西郷は奄美大島で島妻「愛加那」をめぐり、2人の子供をもうけ、この地で暮らした。</p> <p>▽西郷は1862年（文久2年）、鹿児島に召還されたが、島津久光の怒りを買って、半年後に徳之島へ遠島、さらに沖永良部島へ遠島処分となった。その後、本土に戻り、明治維新で活躍する。</p> <p>▽西郷南洲流謫地跡近くの墓地には愛加那の墓がある。2人の間に生まれた子供は明治維新後、西郷に引き取られたが、愛加那は島で亡くなった。</p> <p>▽西郷南洲流謫地跡から2kmほど離れた場所に西郷上陸の地がある。（「西郷翁上陸之地」については「B-8」を参照）</p>		



西郷南洲流謫地跡の家の内部
（龍郷町）



西郷南洲流謫地跡
石碑の碑文は勝海舟の筆による

奄美産業活性化協議会作成
（2016年現在）